令和3年　4月　1日現在

愛知県ソフトボール協会　国民体育大会　出場監督・選手選考基準

◆　目的

・国体本大会での優勝を果たすため、代表監督および代表選手の選考方法を明確にし、参加チーム・選手のレベルアップを図るとともに、愛知県代表チームの強化を図ることを目的として基準を設定する。

◆　各種別の選考基準

	監督	選手	ふるさと選手
成年男子 （2013年度の国体予選監督会議にて決定）	・前年度3大会の成績をポイント制にし、監督、主体チームを決定する。但し、同ポイントの場合は、決勝T、全日本総合、リーグの順位で上位成績のチーム監督とする。	・デンソー、トヨタ自動車、豊田自動織機の3チームより代表監督が人選する。但し、各チーム2名以上とする。 ・県予選会を開催し、3チーム以外で監督が必要と判断した選手は代表に加えることが出来る。	・デンソー・トヨタ・豊田自動織機の3チームからプロテクト選手を決定する（毎年更新）。 ・プロテクト選手から漏れた選手は出身県から依頼があり、各チーム選手・コーチ・監督が認めればふるさと選手での出場を許可する。
成年女子	・前年度の日本リーグで上位チームの監督が代表監督を行う。	・県予選会を開催し、代表監督が人選し、選手所属監督と当該選手の了承を得る。	・ふるさと選手出場を依頼されたチーム監督と当該選手が承諾した場合はふるさと選手を優先する。
少年男子	・専門委員会である「高校男子委員会」にて各校の代表者で協議して依頼および決定をする。	・国体選手選考会を設けて専門委員会である「高校男子委員会」で協議して決定する。	
少年女子 （高体連ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ専門部で決定）	・県総体の優勝監督に国体チームの監督を依頼する。	・役員会議を行い監督に提案し、意見を聞きながら決定をする。	